



点火用のたいまつを運ぶ実行委員の皆さんたち

第8回  
縄文  
まつり(同  
実行委員  
会主催)  
が、7月  
18日、入  
江貝塚公

園で開催され、参加した子供たちは、縄文時代の生活を体験し、縄文文化への理解を深めました。

たいまつによる点火パフォーマンスでオープニング。火おこし、イタドリ笛づくりなどの縄文体験や縄文ミニゲーム、縄文選手権などの多様なアトラクションが用意され、来場者を楽しませました。

人気の火おこしコーナーでは、子供や大人たちが、なかなかおきない火に悪戦苦闘しながら、果敢に挑戦。

昼食時には、ホタテ入りの縄文カレーなどが振る舞われ、好評を博していました。

## 縄文の暮らしを体験 第8回縄文まつり

## 洞爺湖に夏到来 レークスポーツフェスティバル

初 夏の恒例行事となっている教育委員会主催のレークスポーツフェスティバルが、7月16日、洞爺湖カヌー体験ハウス前湖畔で行われました。

晴天の中、小中学生のほか洞爺レークスポーツ協会会員、スポーツ推進員など合わせて約40人が参加して、カヌーやバナナボード、中島遊覧などを楽しみました。人気のバナナボードでは、まだ冷たい湖水に振り落とされるパフォーマンスに歓声を上げていました。

昼食には、ジンギスカンが提供され、水遊びでおな



バナナボードを楽しむ子供たち

かをすかせた子供たちが、焼き台を囲み、肉を口いっぱいにはおぼっていました。

## 温泉街でフリーマーケット お気に入りの品物探す

7 月18日、洞爺湖温泉で、フリーマーケット「FLEA MARKET TOYA」が開催され、雑貨や衣料品などお目当ての品物を求める買い物客で賑わいました。

ニセコから移住し、洞爺湖温泉街で人気のハンバーガーショップ「ハイドゥン」を営む伊比美香子さんと佐藤つぐみさんが、「洞爺湖温泉街を盛り上げよう」と発案し、賛同者を募って「108. CO実行委員会」を立ち上げて実現しました。

当日は、イルミネーショントンネルが冬期間設置されている「にぎわい広場」に、町内外から23店が出店。



お目当てのものを探す買い物客

来場者らは、出店者と会話を交わしながら、買い物を楽しんでいました。

## 豊浦シーガルス 地区優勝を報告 全道大会に出場決定

洞 爺湖町と豊浦町との合同少年野球チーム豊浦シーガルズのメンバーが、7月19日役場を訪問し、真屋町長に全道大会出場報告と大会での健闘を誓いました。

同チームは、6月26日から7月2日に室蘭市で開催されたホクレン旗争奪第34回北海道少年軟式野球選手権大会胆振支部予選大会で優勝。札幌市麻生球場で行われる全道大会への出場を決めました。

真屋町長は、「応援していますので、頑張ってください」とメンバーを激励。キャプテンの洞ヶ瀬勇樹君(豊浦小6年)が、「胆振45チームを勝ち抜きました。胆振の代表として頑張ります」と意気込みを語りました。



地区優勝をした豊浦シーガルズのナイン

